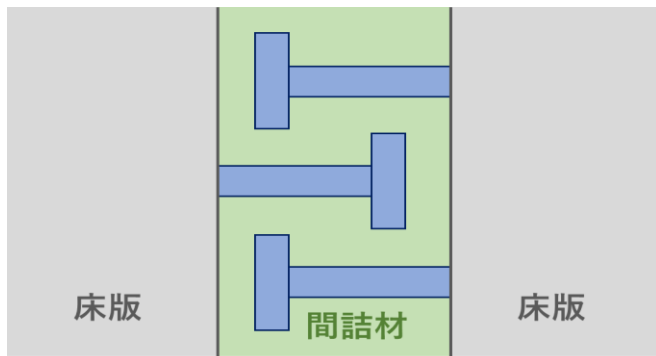


技術概要書（様式）

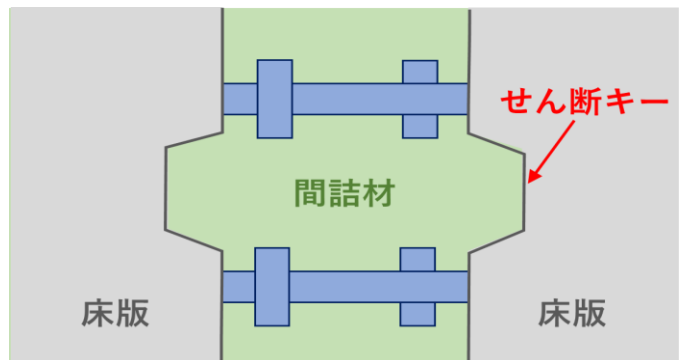
※別紙

出展技術の分類	インフラDX 安全・防災 維持管理 環境 コスト 品質 （該当分類に○を付記）		
技術名称	プレキャストPC床版接合技術(Head-barジョイント)	担当部署	九州支店 土木営業部
NETIS登録番号		担当者	黒崎 光宏
社名等	大成建設株式会社	電話番号	092-475-5714
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機		
	<p>既設RC床版(コンクリート床版)は塩害や疲労等による劣化が著しく、PCa床版(プレキャスト床版)への取替が多数計画・実施されています。床版取替工事は、工事に伴う交通への影響等を最小限に抑制する必要があり、工期短縮が求められています。</p>		
	2. 技術の内容		
	<p>プレート定着型鉄筋(Head-bar)と、間詰材に高強度鋼繊維補強モルタルを併用することで、隣接するPca床版との間隔を110mmまで短縮することができました。これにより、間詰部の橋軸直角方向鉄筋の省略が可能になりました。また、間詰施工を効率化することができます。</p>		
	3. 技術の効果		
<p>従来のループ継手を用いたPCa床版(プレキャスト床版)の設置では、PCa床版を鋼桁上に乗せた後、水平移動させる必要があり、設置後には間詰部内に異型鉄筋を配置していました。本接合は床版を落とし込むだけで設置が可能であり、間詰部内に異型鉄筋を配置する必要がありません。加えて、ループ継手よりも間詰材の量が少ないことから、小型の間詰材製造機械と打込み機材による間詰作業が可能であり、施工性が向上します。</p>			
4. 技術の適用範囲			
<p>道路橋RC床版の取り換えに使用可能です。</p>			
5. 活用実績			
<p>中国自動車道(特定更新等)赤山橋他4橋床版取替工事(発注者:西日本高速道路(株)中国支社)</p>			

6. 写真・図・表



平面図



断面図



接合部配筋状況



接合部配筋状況



Head-bar